

やまのうち通信



第 164 号その①

令和 2 年 12 月 20 日

山内自治振興センター
庄原市山内町 813-4

TEL・FAX (0824) 74-0451

✉ yamanouchi.jichi@gmail.com

うつくしいものを美しい
と思える

あなたの心がうつくしい

—相田みつを—

11月23日(祝日)狼煙「ルー」が開催されました!

11月23日(祝日)、恒例ののろしルーが7つの自治振興区を結んで行われました。

今年は新型コロナウイルスの関係で飲食を伴う甲山城祭りは中止し、甲山城跡でのろしルーだけが行われました。

当日午前 9 時に自治会長会・郷土史研究会のメンバーが円通寺境内に集合し、甲山城跡に登り、ヒノキの枝でのろしの材料を作り、準備を行いました。

甲山城跡では東自治振興区からののろしルーを受け、11 時 51 分にのろしを上げました。

当日は快晴ではなかったものの、高・庄原・峰田・敷信、東自治振興区でのろしがよく見え、これまで行ってきたのろしルーの中でも一番多く確認されました。



←のろしの準備をしてくださった方々と、のろしの消火をしてくださった消防団の方々です。ご協力くださりありがとうございました!



投稿写真「甲山城のろし」投稿ありがとうございます!!



↑ 山内町にお住まいの方が撮影



↑ 本郷町 近藤良人さん撮影

「厚生労働白書」をご存知でしょうか。厚生労働省が作成する報告書の1つですが、医療や福祉に関する内容を中心に、現状や課題を整理した報告書です。今年の白書にこのような記述がありました。

これからの社会の変化

- 世帯の変化がさらに進み、2040年には単独世帯が約4割に。
- 平成の30年間で、三世帯世帯は約4割から約1割へと4分の1に減少。
- 「日頃のちょっとした手助け」が得られず、生活の支えが必要と思われる高齢者の世帯は、過去25年間で3.6倍となり、今後25年間で1.4倍に増加の見込み。「こまった！」を支えるのはホームヘルパーや看護師。



町ではすでに一人用のレストランやカラオケなどもできていると聞きます。新しい変化です。

私たちの地域の実態は少し違うと思いますが、単身化は確実にすすみます。

一人世帯は、家庭内での支えあいが難しい世帯のかたちであると同時に、仕事の関係等で、人とつながることが難しい世帯とも言われます。

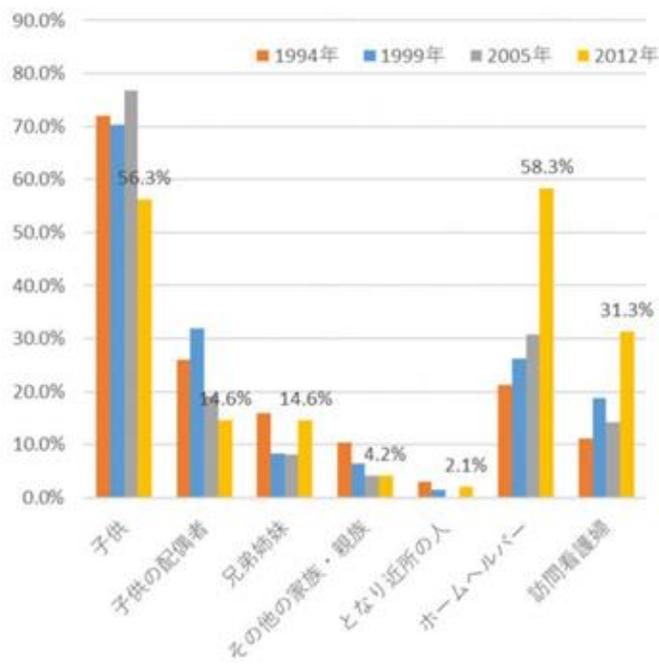
当然、人とつながることが難しい世帯では「困った!」「助けて!」も言いにくいと思われます。

これからの地域のつながりはどのようにあるべきか・・・答えはすぐに見つかりませんが、ヘルパーや看護師の確保は地域で暮らすために不可欠となりそうです。また、地域の活動や行事も、1人暮らしの人が参加しやすい内容や時間帯で行うようになるのかもしれない。

「地域のつながり」は地域の財産です。地域でみんなの協力で見守ることができればと感じます。

庄原市老人介護支援センター相扶園 荒木 和美

一人暮らし高齢者が将来の介護を頼む先



投稿写真を募集しています!!

やまのうち通信では、地域のみなさんからの投稿写真を募集しています。投稿希望の方は写真データを山内自治振興区事務局までお持ちいただくか、自治振興区メールアドレス (yamanouchi.jichi@gmail.com)へお送りください。よろしくお願いたします。



11月環境パトロール隊



右から、長泉進さん・松田一馬さん(写真撮影者)・花房豊さん

12月環境パトロール隊



右から、國近浩二さん・横谷誠さん

おたがいさまネット 「予約型バスの運行実験が行われました！」



東・山内地区では11月24日から1ヶ月間、「予約型バス」の運行実験が行なわれました。これを報じた11月26日付けの「中国新聞県北版」によると、この実証実験は「人工知能（AI）やITを活用し、過疎地域での効率的な公共交通サービスの実用化を目指すもの」とあります。運行実験は9人乗りの小型バス1台で、1日6往復市街地と結び、地域の乗降場所もより生活域に近いところにも設定してありました。

実験にモニターとして参加した山内地区住民27名は、11月16日に予約アプリをスマホに取り込むための説明を受けた後、24日からそれぞれの都合で利用を開始しました。私もこの間4回利用してみましたが、複数の乗降場所を経由しても、AIシステムが時間と距離の面で最適なルートを設定しているのでストレス無く市街地の目的地に移動出来ました。

今回の実験はスマホによる予約の完全自動化という点で、より先進的な取り組みと云えますが、利用者はスマホの扱いに慣れることが必要です。今後は運行区域を更に広げた場合のルート設定や料金設定、便数など、実現に向けての課題検証がアンケートの集計などを通して行なわれます。

当地区においても今年度より、これまでの地域生活バスに替えて市民タクシー制度を取り入れるなど、自家用車に頼れない住民にとって、より利便性の高い生活交通を検討してきました。また地域内の諸施設（JA・郵便局・自治振興センター・サロン会場など）を利用する場合の住民主体で出来る移動サービスの必要も感じています。安心して暮らせる地域づくりを進める上で生活交通は避けて通れない課題であり、今回の実証実験の行方に注目をしていきたいと思えます。

地域マネージャー 三上智道

1月の予定

- 12日 ふれあい給食
- 20日 自治会長会
- 26日 ふれあい給食



男性料理教室 12月3日(木)

5名参加



- ・八幡巻き
- ・ごぼうの胡麻和え
- ・手綱こんにゃく
- ・紅白なます
- ・かぼちゃきんとん



山内自治振興センター施設をご利用の際は、ストーブ・エアコン等の切り忘れや火の取り扱いに十分注意してください。よろしくお願いたします。事務局

山内自治振興センタートイレの改修が終わりました！

→改修した2階トイレ



→1階に新設した女性用トイレ



山内自治振興センタートイレの改修が、10～11月に行われ、1階・2階トイレがこれまで男女共用でしたが、男女別々のトイレに改修されました。

これまで男女共用であったことから、女性が利用する際に、男性が同時に入ってきたりと、心理的に利用しづらい面がありました。

これからはそうした不便から解放されましたので気持ちよくご利用ください。

恒例の年末大掃除のご協力ありがとうございました！！



12月2日（水）、恒例の山内自治振興センターの大掃除が行われ、山内小学校6年生、生涯学習の各教室の皆様はじめ民生委員、老人会、女性会、ふれあい給食会、自治会長会、放課後子ども教室指導者会などにご協力いただき、一階二階のすべての部屋の掃除、玄関の掃除、蛍光灯、エアコン、窓ふきなどをしていただきました。

↑ 午後の部に参加して下さった方々

午前部の部に参加して下さった方々→

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアの人数を制限し、午前と午後の2回に、人数を分けて作業を行っていただきました。

おかげで良い新年が迎えることができそうです。ありがとうございました。



投稿写真の紹介です

大下自治会 「防火水槽に堆積した土砂を取り除きました!!」



長い間に雨水とともに流入した土砂により防火水槽の貯水量が低下したため、地元消防団員と自治会役員で、水槽内に堆積した土砂を取り除きました。



小車目ふれあいサロン(趣味の会) 「しめ縄を大山神社に奉納しました!!」



小車目ふれあいサロンは後水越老人会（後水越自治会）を母体に梶田忠敬会長のもと平成18年に発足し、毎月1回活動をしています。今年は新型コロナウイルスの関係で月1回の活動はできていませんが、11月23日の大山祭りには会員の三上名越子さんの指導を受け、通算15回目のしめ縄作りをし、大山神社に奉納しました。



活動はできていませんが、11月23日の大山祭りには会員の三上名越子さんの指導を受け、通算15回目のしめ縄作りをし、大山神社に奉納しました。

やまのうち通信

第164号その②

令和2年12月20日



山内自治振興センター
庄原市山内町 813-4
Tel・FAX (0824) 74-0451
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com



定住促進プロジェクト(空き家活用)だより



12月5日(土), 移住家族の皆さんと地域の皆さん総勢65名, 自然体験活動「第3回ねきの野山がおもしろい(休耕地で草灰作って火鉢でGO!!)」を開催しました。

場所は鳥獣害対策も兼ね, 10月からオープンされたカフェ Win Win(元多恋人さん)の横の広大な遊休地を, 所有者の方から事前に了承を得てお借りしました。

背丈ほどの草むらからカマキリの卵を助けだし, 燃やして火鉢用に草木灰を作ったり, その場に繁茂していたクズツルでクリスマスリースをこしらえたり, のんびり過ごしました。



ゆっくりした時間から生まれた遊びはツルの綱引き, 大縄とび, 体重制限ありの(笑)秘密基地作りなどなど。ゆっくり過ごす, やりたいことをいっぱい試させてあげる, 任せて待つ, 保護者の方々の様子に感動しました。

皆さんもまた, ご参加くださいね, ねきの野山でお待ちしています。 地域マネージャー 藤田典久・寺西玉実

山内小学校3・4年生「古民家活用プロジェクト」だより



空き家のPR方法を検討する様子

【学習活動の概要】 山内小学校の3・4年生は, 総合的な学習の時間に「古民家活用プロジェクト」として, 自治振興区の定住促進(空き家活用)事業とコラボした活動を行っています。子どもたちは, 「山内に人を増やしたい!」という思いで空き家となっている古民家の清掃活動やPRに向けた協議を行ってきました。

現在, 2軒の空き家を清掃しました。感染症対策を行いつつ, 地域の方からご指導を受けて, 新しく住まれる方が気持ちよく暮らすことができるように小さなことから頑張っています。体験を受け, 学級では, 「自分たちにできるPRは何だろうか」と考え, 協議しました。「ポスターで山内の良さ合わせて伝える」, 「動画で実際に暮らしたらどんな感じが紹介する」, 「歴史などを山内が好きになれる情報とセットで古民家を紹介するリーフレットを配る」, 「古民家と現代風な家を比べた文章を書いて紹介する」等, たくさんの意見が出ました。

今後, 地域の様々な場で庄原の方々, 広島県内外の方々へ発信していきたいと思います。子供たちが主体的に考え, 行動してできた山内の古民家紹介リーフレット・ポスター等をぜひ見ていただけたらと思います。

【古民家と現代風な家を比べてみました！！】

私たちは、庄原市立山内小学校の四年生です。私たちは山内に人が増えたらいいなと思い、使われていない古民家をきれいにして、人を招く取り組みをしています。その学習で、『現代風な家と古民家のそれぞれの違いや良さ』を比べて次のような説明文を書きました。



現代風の家と古民家の最も大きな違いは部屋の使い方だといってよいでしょう。

現代風の家は、目的に合わせた部屋にします。寝室、勉強する部屋、ご飯を食べる部屋などたくさんの目的ごとに部屋があります。一方、古民家は一つの部屋でたくさんのことをすることができます。部屋が一つしかない時、ご飯を食べるときにはテーブルを出し、寝るときにはしまって寝ることもできます。

これはそれぞれの家の良さでもあります。例えば、ご飯を食べて、泊まるときのことを考えてみましょう。古民家は一つの部屋で全てのことができます。一方、現代風の家は少なくとも三つの部屋が必要になりますが、初めて来た人でもその部屋が何をする部屋かすぐに分かります。

このように見ると、どちらにも良さがあります。古民家も現代風の家もたくさんの良さがあることが分かります。 庄原市立山内小学校 4年生児童

現代風の家と古民家の大きな違いは部屋に置く家具だと私は思います。

現代風の家は、ソファやテレビなど大きな家具を置き、古民家はあまりものを置きません。ここが違いだと思います。

この違いにはそれぞれ良さがあります。古民家は、机や布団を用意したり、ふすまをしめたりしていろいろな目的に使えます。また、和風で畳のいい香りがするので落ち着きます。現代風の家は、洋風でカーペットやソファを置いていておしゃれです。

私は古民家が好きです。なぜかという、畳が大好きで落ち着くし、優しい感じがするからです。見た目のおしゃれさよりも心がリラックスする方が大事だと思います。

庄原市立山内小学校 4年生児童



こんな違いや良さがありますが、僕たちは、古民家をオススメします。ぜひ、山内の古民家に住んでもらって、一緒に楽しい山内をつくっていきましょう。



空き家を清掃する様子



庄原市立山内小学校3・4年生担任 森脇勇太